

国語科単元構想シート

単元名 『『物語マップ』を使って考えたことを伝え合おう』 全8時間  
 教材名 「たずねびと(光村図書5年)」

単元目標 (単元で育成を目指す 資質・能力)  ◎…指導の重点	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにし、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うことができる。(1)オ [知識及び技能]	評価規準		
	◎人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができる。「C読むこと」(1)エ [思考力、判断力、表現力等] ○言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」	知識・技能  思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ	思考・判断・表現  「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。C(1)エ	主体的に学習に取り組む態度  粘り強く物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって、物語に対する思いや考えを伝え合おうとしている。
単元で取り上げる言語活動 物語の全体像を捉えるために作成した「物語マップ」を基に、考えたことを伝え合い、自分の考えを広げる。				

単元の流れ ★「主体的に学習に取り組む態度」を評価する時間	「読み解く力」の視点を踏まえた、児童の学ぶ姿		指導の手立て 「個別最適な学び」【個】・「協働的な学び」【協】	
① 学習の見通しをもち、学習計画を立てる。★ ②③ 教材文を読んで、選択した場面の様子や登場人物の心情の変化を基に物語の全体像を具体的に想像する。想像したことを活用して、「物語マップ」にまとめる。 ④ 作成した「物語マップ」を基に、考えたことや感じたことを伝え合う。★ ⑤⑥⑦ 自分が選んだ1冊の全体像を具体的に想像し、「物語マップ」にまとめる。 ⑧ 作成した「物語マップ」を基に、考えたことを共有し感想を伝え合うことで、自分の考えを広げる。★	A 主に文章や図、グラフから読み解き理解する力	必要な情報を確かに取り出す【①発見・蓄積】 教材文や自分が選んだ並行読書材の中から、場面の様子や登場人物の心情の変化を表す描写を見つけている。	B 主に他者とのやりとりから読み解き理解する力	
		情報を比較し、関連付けて整理する【②分析・整理】 教材文や、自分が選んだお気に入りの1冊から、物語の世界や人物像を豊かに想像している。		友達とのやりとりを通して、場面の様子や登場人物の心情の変化を表す描写を新たに見つけている。  友達とのやりとりを通して、物語の世界や人物像を豊かに想像している。
		自分なりに解決し、知識を再構築する【③再構築】 物語の世界や人物像を豊かに想像したことを生かして、「物語マップ」を書いている。		「物語マップ」を基に、作品を通して考えたことを友達と交流している。
		・学習のゴールを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるように、言語活動のモデルである「物語マップ」を児童に示す。これまでの学習経験を基に、児童と一緒に学習計画を作成する。【個】【協】 ・教材文で学習したことを生かして、自分で選んだ1冊を「物語マップ」にまとめることができるように、単元の前半で、教材文を活用した「物語マップを」作成する。【個】【協】 ・「物語マップ」を作成する際は、疑問に感じたことを、随時友達と交流して解決できるようにする。【協】【個】 ・場面の様子の移り変わりや心情の変化が視覚化できるように、短冊と挿絵等を仮止めし、交流時に自由に動かせるようにする。【個】【協】		